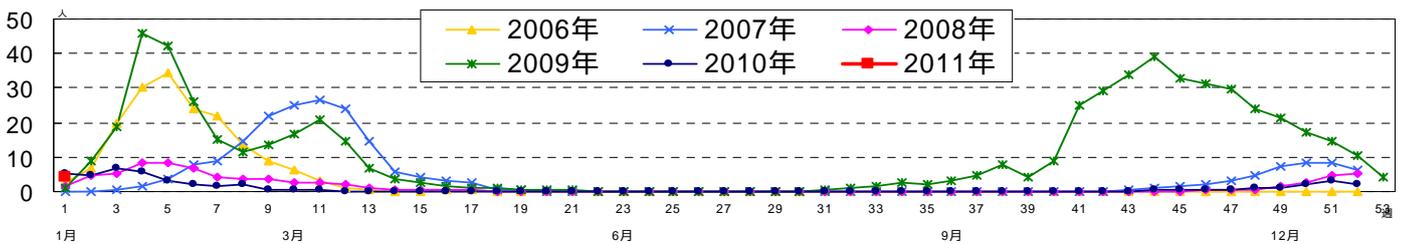


# 横浜市インフルエンザ流行情報第 2 号

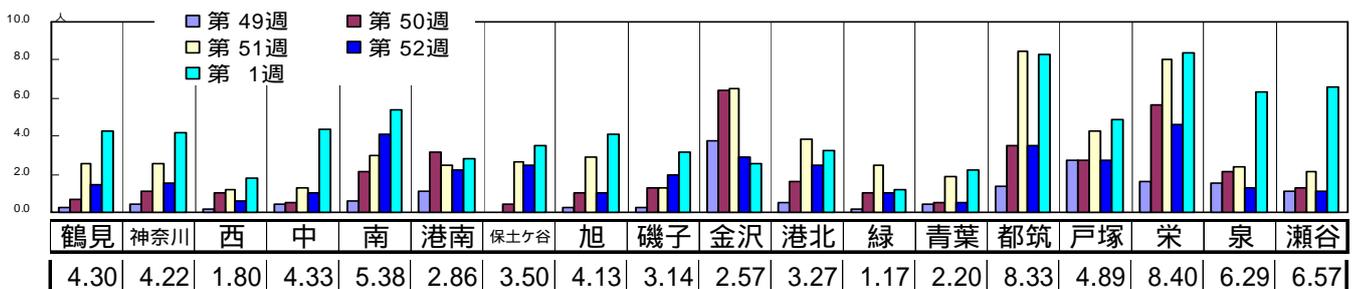
横浜市健康福祉局健康安全課 / 横浜市衛生研究所

- トピックス**・ 第1週(1月3日からの週)では、全区で流行のめやす「1」を超えました。
- ・ 市内の迅速キットでの結果は、第 52 週までは B 型が3割を占めていましたが、第1週では A 型が 463 件、B 型 12 件でした。
  - ・ 第1週では、報告者に占める 20 歳以上の割合が 47%と高くなっています。
  - ・ 病原体定点からは、主に A 香港と AH1 パンデミック(新型)が検出されています。
  - ・ 今のところ薬剤耐性を示唆する遺伝子変異は検出されていません。
  - ・ ワクチン株との比較では、今シーズンのワクチンは有効と思われます。

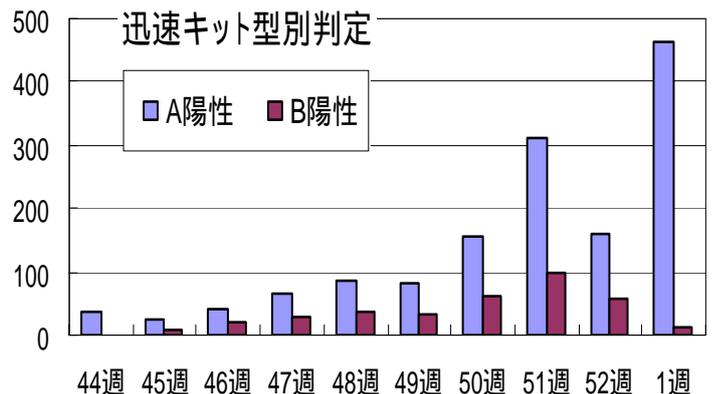
1 市内 150 か所(小児科 91 内科 59)の定点医療機関からの報告で、第 50 週(12月13日～19日)以降「流行のめやす」である「定点あたり1」を超えています。第1週(1月3日～9日)では、定点あたり 4.20 でした。年始の休み期間を考慮すると、流行の実態は更に大きいと思われます。



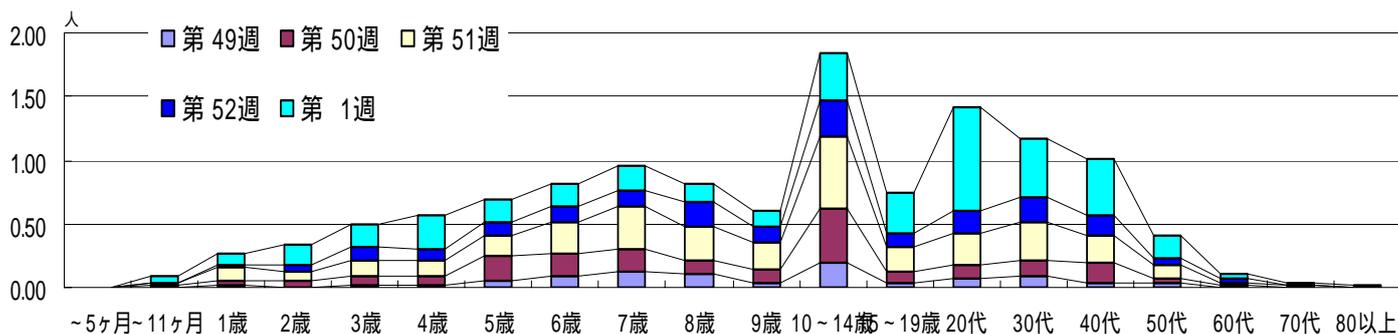
2 行政区別情報: 栄区 8.40、都筑区 8.33 が、「注意報レベル」の定点あたり 10 に迫る勢いです。各区とも、流行のめやすである、定点あたり1を超えています。



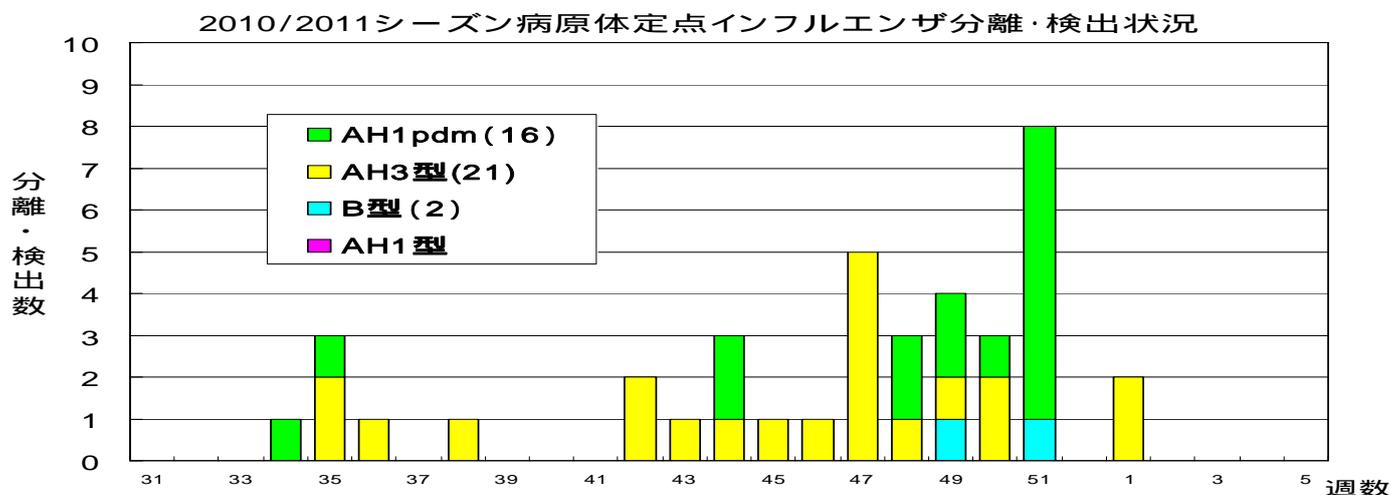
3 迅速キット内訳; 第 52 週までは、市内3割が B 型でしたが、第1週では A 陽性が 463 件、B 陽性が 12 件(3%)でした。



4 年齢層別集計: 第1週では、20歳代の感染が増えています。報告数に占める20歳以上の割合は47%です。



5 病原体検出状況: A パンデミック(新型)と、A 香港が主に検出されています。第47週から25件検出され、11件がA 香港、12件がAH1 パンデミック(新型)、2件がB型です。



6 その他: 急性脳炎(インフルエンザウイルスによるものも含む)については、感染症法の5類の届出が必要です。届出基準、届出用紙につきましてはこちらをご参考ください。

横浜市衛生研究所ホームページ 届出基準

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/infection/pdf/kijun/go03.pdf>

横浜市衛生研究所ホームページ 届出様式

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/infection/pdf/yousiki/go03.pdf>

横浜市衛生研究所では1月末までホームページの顧客満足度調査を行っています。

「横浜市衛生研究所トップページ」からご参加ください。

【お問い合わせ先】

横浜市健康福祉局健康安全課

TEL045(671)2463

横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課

TEL045(754)9816

同

検査研究課ウイルス担当

TEL 045(754)9804